

CASBEE-新築(簡易版)2008年版
(仮称)嵐山ホテル 計画

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2008年

■評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
				評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質									3.0
Q1 室内環境					0.40				3.1
1 音環境				3.8	0.15	3.8	1.00		3.8
1.1 騒音				3.0	0.40	4.0	0.40		
1 暗騒音レベル				3.0	1.00	4.0	1.00		
2 設備騒音対策				-	-	-	-		
1.2 遮音				5.0	0.40	4.2	0.40		
1 開口部遮音性能		T-2以上		5.0	1.00	5.0	0.30		
2 界壁遮音性能				3.0	-	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	4.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	5.0	0.20		
1.3 吸音				3.0	0.20	3.0	0.20		
2 温熱環境				2.6	0.35	2.4	1.00		2.5
2.1 室温制御				3.5	0.50	3.0	0.50		
1 室温設定				3.0	0.38	3.0	0.57		
2 負荷変動・追従制御性				-	-	-	-		
3 外皮性能		窓SC:複層ガラス+ブラインド+庇(0.2程度) 外壁:吹付ウレタン(U=0.8程度)		5.0	0.25	3.0	0.43		
4 ゾーン別制御性				3.0	0.38	3.0	-		
5 温度・湿度制御				-	-	-	-		
6 個別制御				-	-	-	-		
7 時間外空調に対する配慮				-	-	-	-		
8 監視システム				-	-	-	-		
2.2 湿度制御				3.0	0.20	3.0	0.20		
2.3 空調方式				1.0	0.30	1.0	0.30		
3 光・視環境				3.3	0.25	4.1	1.00		3.6
3.1 昼光利用				3.0	0.30	4.2	0.30		
1 昼光率				3.0	0.60	5.0	0.60		
2 方位別開口				3.0	-	3.0	-		
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.40		
3.2 グレア対策				4.0	0.30	4.0	0.30		
1 照明器具のグレア				-	-	-	-		
2 昼光制御		【共用】ブラインド+庇 【宿泊】ブラインド+バルコニー庇		4.0	1.00	4.0	1.00		
3.3 照度				3.0	0.15	3.0	0.15		
1 照度				3.0	1.00	3.0	1.00		
2 照度均斉度				-	-	-	-		
3.4 照明制御				3.0	0.25	5.0	0.25		
4 空気質環境				2.8	0.25	3.3	1.00		3.0
4.1 発生源対策				4.0	0.50	4.0	0.63		
1 化学汚染物質		内装材はF☆☆☆☆採用		4.0	1.00	4.0	1.00		
2 アスベスト対策				-	-	-	-		
3 ダニ・カビ等				-	-	-	-		
4 レジオネラ対策				-	-	-	-		
4.2 換気				2.0	0.30	2.3	0.38		
1 換気量				3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能				3.0	-	3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.50	1.0	0.33		
4 給気計画				-	-	-	-		
4.3 運用管理				1.0	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視				3.0	-	-	-		
2 喫煙の制御				1.0	1.00	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-		3.2
1 機能性				3.9	0.40	3.7	1.00		3.8
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	3.5	0.60		
1 広さ・収納性				3.0	-	3.0	0.50		
2 高度情報通信設備対応				3.0	-	4.0	0.50		
3 バリアフリー計画				3.0	1.00	3.0	-		
1.2 心理性・快適性				5.0	0.30	4.0	0.40		
1 広さ感・景観				3.0	-	3.0	0.50		
2 リフレッシュスペース				3.0	-	3.0	-		
3 内装計画		インテリアベース等の作成・検討		5.0	1.00	5.0	0.50		
1.3 維持管理				4.0	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		維持管理に配慮した設計に関する取組が6つ		4.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保		維持管理用の確保に関する取組が6つ		4.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性				3.1	0.31	-	-		3.1
2.1 耐震・免震				3.0	0.48	-	-		
1 耐震性				3.0	0.80	-	-		
2 免震・制振性能				3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.2	0.33	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.23	-	-		
2 外壁仕上材の補修必要間隔				2.0	0.23	-	-		
3 主要内装仕上材の更新必要間隔				3.0	0.09	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		屋外露出部はステンレスダクト		5.0	0.08	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水管(VLP・B種)給湯管(SUS・C種)排水管(VP・B種)		5.0	0.15	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.23	-	-		

2.3 適切な更新						
2.4 信頼性			3.6	0.19	-	-
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-
2	給排水・衛生設備	節水型器具、雑排水槽、受水槽2分化	5.0	0.20	-	-
3	電気設備	雨水排水ポンプ設置、非常用発電機設置	4.0	0.20	-	-
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-
3 対応性・更新性			3.0	0.29	2.2	1.00
3.1 空間のゆとり			-	-	1.4	0.50
1	階高のゆとり		3.0	-	1.0	0.60
2	空間の形状・自由さ		3.0	-	2.0	0.40
3.2 荷重のゆとり			3.0	-	3.0	0.50
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.30	-	-
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-
3 設備システムの高効率化		ERR=13.7	4.0	0.30	-	-
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-
1 水資源保護			2.2	0.15	-	-
1.1	節水		1.0	0.40	-	-
1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60	-	-
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			2.4	0.63	-	-
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	-
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05	-	-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.24	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.22	-	-
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-
3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.68	-	-
1	消火剤		-	-	-	-
2	断熱材		3.0	0.50	-	-
3	冷媒		3.0	0.50	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-
1 地球温暖化への配慮		Co2排出率を90%以下としている	3.9	0.33	-	-
2 地域環境への配慮			3.4	0.33	-	-
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-
2.2	温熱環境悪化の改善	見附面積比0.487 後退距離比最大12.34 透水性舗装面積10%	4.0	0.50	-	-
2.3	地域インフラへの負荷抑制		2.7	0.25	-	-
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-
1	騒音		3.0	0.33	-	-
2	振動		3.0	0.33	-	-
3	悪臭		3.0	0.33	-	-
3.2 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明をおこなっていない	4.0	0.70	-	-
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-